



## いよいよ今年度も 残りわずか

3月1日現在 0歳児から年長児まで、200人の子どもたちが通園しています。初めての集団生活に、なかなか適応できず「ママがいい～」と後追いする子どもさんもありましたが、初めは大泣きしていても、2週間もしないうちに笑顔が見られるようになってきました。子どもたちの生活環境への適応能力の高さには驚かされます。

今年は、新型コロナウイルスの感染予防のために、心配がつきません。園内から一人でも感染者がでたら休園せざるを得ないことやもしもの時には濃厚接触者がとても多いことなど、考え始めると次々と心配の種が頭に浮かんでいきます。幸い今のところは、感染の報告はありません。予断はできませんので、手洗い・うがいの励行に努めていきます。保護者の皆様には、発熱して24時間経過していない子どもさんや咳が出る子どもさんは、登園を見合わせてください。これからどうぞご協力をお願いいたします。

本園の子どもは、心が安定した子どもたちに成長しているなあとつくづく思います。一般的に子どもは、保護者の皆さんの言葉や行動に大きく揺れ動きますが、その表現として、「甘える」、「泣く」、「保育者から離れられない」などが見られます。子どもたちの不安がそうさせるのでしょうが子どもたちの心を支えるものは、やはり家庭で愛されていること、大事にされているという安心感です。その安心感があるからこそ、幼稚園での活動が成り立っているのだと思います。保護者の皆さまに対して、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、子どもたちの成長に関わることができる保育者という仕事の素晴らしさにも、またまた感謝です。

さて、一年間を振り返ってみましょう。

4月には、入園式。新しいお友達がたくさん来てくれてうれしかったです。

5月には、運動会がありました。屋内競技場の慣れない場所での発表に戸惑う子どもたちもみられましたが、思い切って活動できたようです。

6月は、宮崎学園短大の2年生が3週間の教育実習にきました。子どもたちは、いっぱい遊んでもらいました。

7月は、年長児のお泊り保育がありました。幼稚園に泊まって、友だちと一緒に夜を過ごす経験は、子どもを大きく成長させました。清武郷土祭りの参加は、雨が降ってできませんでした。

8月は、夕涼み会がありました。手作りの品物を売ったり買ったりしてお店屋さんごっこをしました。おやじの会のお父さんたちから、ヨーヨーをいただいて、みんなご機嫌でした。

9月からの2学期には、幼稚園の外での活動が多くありました。お芋ほり、みかん狩り、園外保育などに出かけました。そのたびに、「こんにちは」や「ありがとうございます」の挨拶ができる子どもたちが増えていきました。

そして、12月の発表会には、素晴らしい発表ができました。練習期間が短かったのにみんなとても上手で、感心しました。子どもたちの発表には、思わず涙が出てしまいました。

2月、3月は、なかなか新型コロナウイルスの収束が見られないまま保育活動が続いていきました。自宅で待機のためお休みしている子どもたちも多く、残念でした。早く収束してくれるのを待ちましょう。様々な行事に合わせた保育や、国際大学生の教育実習、お別れ集会と無事に保育活動を終了することができました。

残すところは、いよいよ卒園の日と修了の日です。

1年間は長いですが、振り返ってみればとても短くてあっという間と感じられます。子どもたちは、様々な体験を通して、大きく成長しているのだなあと感じます。これもひとえに、保護者の皆さまが子どもたちを支えてくださったおかげです。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、各種行事にはおやじの会の皆さまをはじめ、お忙しい中に多くの保護者の皆様にご協力をいただきました。重ねてお礼申し上げます。次年度も、どうぞよろしく願いいたします。

卒園するゆり組、もも組の皆さん、自信をもって小学校に進学してください。皆さんのキラキラ輝いている姿は、いつまでも忘れることはできません。小学校に行っても、元気で活躍してくださいね。そして、ときには、幼稚園に遊びに来て、小学校での様子をいっぱい聞かせてください。楽しみにしています。

幼稚園便り「みどり」も、これで本年度は終了いたします。保護者の皆さまのご協力に感謝申し上げます。